

ポットカーネーション満開後の管理（切り戻しと植え替え）

ロマンス® & カリフォルニアシリーズは何度も咲く！

① 切り戻しをしましょう



満開を過ぎて、
咲かない蕾が増えてきたら
切り戻しの適期です
(2017年6月10日撮影)

折り取った後



草丈の半分を目安に、半分から上の茎をすべて手で折り取ります。これを「切り戻し」といいます。
株内の枯れた葉や黄色い葉も取り除きます。
カーネーションには茎を折ると、その下の節から必ず新しい芽が一つ出るといった性質があります。

② 植え替えをしましょう



一回り大きな鉢に植え替えます
例) 元の鉢が15cm (5号) 鉢
→18cm (6号) 鉢に植え替え



根鉢を崩さずに植え替えます。
通気を良くするため、
やや高めに植え替えます
(赤線より上を新しい土に
埋めないようにします)。



水やり用のスペース
(ウオータースペース) を
1.5~2cmは開けます。



通気性と排水性に優れた
市販の土に肥料を混ぜます。

肥料の例)
マグァンプK中粒4g/株

農薬：アフラムシ、アザミウマ対策にベストガード粒剤など

ここがポイント

切り戻し：茎を折ることにより、新しい芽が伸びます。
40~60日後から再び花が咲きます。
植え替え：新しい土が加わることにより、新しい根が伸び生育が良くなります。水やりの手間を省くこともできます。



寄せ植えしても
綺麗です

例) 30cm丸型
プランター
カーネーション1株
ロベリア3株

③ 植え替え後の置き場所

北向きか東向きの風通しの良い屋外で管理します。南向きや西向きに置く場合は、**午前中には日が当たり、午後の西日は当たりにくい場所**が理想的です。西日が強すぎると葉の傷みや生育不良原因となります。なるべく**雨がかからないところ**に置くとよいです。

⑤ 植え替え後の肥料

新しい芽が伸びてきたら、固形肥料を商品の規定量置きます。

例) フロミック草花・鉢花用 3錠/18cm (6号) 鉢
1~1.5か月毎

※葉色が薄緑色になる場合や葉が細い場合は肥料の量を追加します。



④ 植え替え後の水やり

晴れた日が続く場合は**1日1回** (通常は2日に1回) を目安に、株元から水をやり、鉢底から水が流れ出るまでやります。鉢土が黒く湿っている時や曇り、雨の日には水は控えます。土を乾かしすぎた場合 (水をやるとすぐに土を通過し、鉢底から水が流れ出る時) は鉢皿などを鉢の下に置き、水を何度か貯め、土に水をしっかりと吸わせませす。

ここがポイント

植え替え後に満開を過ぎたら、再び切り戻しを行いません。この時の植え替えは根が鉢土全体に広がり、詰まっている場合に行いません。通常であれば必要なく、今後の切り戻し1~3回に1回のペースで植え替えを行いません。

⑥ 10月から春までの管理

秋になり、気温が低くなり日差しも弱くなったら水やりは**4~5日に1回**で済むようになります。最低気温が5℃を下回る11月~3月 (関東地方) になったら、室内かなるべく寒風の当たらない場所に移動させます。地植えする場合は9月下旬までに行いません。



6/10 切り戻し前



切り戻し後



植え替え後



6/10 植え替え後



7/4 (24日後)
新芽がたくさん



7/14 (34日後)
蕾が出始める



7/25 (45日後)
開花



7/25 (45日後) 開花

